

今年もよろしくお願いします

要求実現めざしみんなで力を合わせて頑張りましょう！！



新年おめでとうございます



新年おめでとうございます。
年末年始出勤され、患者さん・利用者さんの対応、そして職場を守られた皆さん大変お疲れ様でした。昨年5月から新型コロナ感染症の位置づけが5類へ移行となりましたが、完全に終息していない中感染に留意しながらの勤務に心から敬意を表します。秋田でも社会的な活動や交流は活発になっていますが、医療機関ではクラスターが発生するなどまだ予断を許さない状況は続いています。医療・介護などの現場では感染対策を緩めずに奮闘しています。

今年は、診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス報酬のトリプル改定の年です。

政府は昨年12月22日、医療機関の収入に当たる診療報酬の2024年度改定で、

医師や看護師ら医療従事者の人件費などに相当する「本体」部分を0・88%、介護報酬を1・59%引き上げるという内容を閣議決定しました。いずれにしても微々たるプラス改定であり、私たちが求めていいるすべてのケア労働者の大幅な賃上げを実現するだけの財源にはなり得ません。今回の診療報酬と介護報酬の引き上げ率は、国民のいのちと健康をないがしろにする姿勢の表れであると強く糾弾します。2024年の診療報酬・介護報酬の改定率が、このような極めて不十分な内容のままであります。医療・介護現場の人員不足により医療・介護の提供体制が成り立たず、地域経済に深刻な影響を及ぼすことを強く指摘するとともに、その事態をふせぐために、国民負担を抑さえ、国庫による改定率の大幅引き上げを強く求めます。

政府の失策とも言える「アベノミクス」が引き起こした円安と物価上昇によって実質賃金低下に歯止めがかからず、国民生活は、困難の度合いを増している時にアメリカの要望で防衛費予算を倍加し、財界の要望で大企業優遇税制を

すすめています。一方で、国民生活の基盤である医療・介護福祉予算を大幅に削減している様は、まさに国民の意識とはかけ離れた政治であり、国民は望んでいません。いま政治が取り組むべき重要課題は、国民生活を不況や低賃金、過重労働から防衛することであり、そのためには物価上昇を上回る労働者の賃上げ、地域最低賃金を全国一律にして大幅に引き上げることが必要です。

日本医労連は、「働く者の生活と権利を守ること」、「広汎な労働者・国民と連帯し、国民医療の改善と社会保障制度の拡充」そして「平和と民主主義を守ること」を綱領に掲げ運動をすすめました。今こそ医療・介護従事者である私たちたちが団結し、国民のいのちと暮らしを守る運動を大きく展開します。昨年秋闇時に取組んだ2024年春闇運動は、「人員不足で忙しすぎる、休みが取れない」等の意見が引き上げを強く求めます。

2024年春闇要求に關わる要求づくりに活かしていくます。今年は、感染に留意しながらではあります、労働組合本来の活動に近づけるよう、要求を実現する行動、組合員

が交流できるような様々な企画等を増やす取り組みを行っていきます。「職場の要両輪として情勢をしつかりと学習し、要求に確信を持ち、団結してたたかうことが大切です。一つ一つの問題を組合員の皆さんと討論を重ねて要求づくりを進めています。要求実現のために執行委員会は今年も全力で頑張る決意です。今年もよろしくお願いします。組合員のみなさん！ 要求実現のため力を合わせて頑張りましょう！」



第3回分会長会議開催します

秋田：1月11日(木)

①組合事務所 11:30～13:30、17:00～18:00

②中通総合病院7階ホール 17:15～18:30

大曲：1月11日(木)

別館2階会議室 17:30～18:30

<議題>

1. 2024年春闇（第2回中央委員会開催）について
2. 今后の行事予定 3. その他

※分会長参加できない場合は、必ず代理の方の出席をお願いします。

今年も新春団結旗開きは中止です。

代替として、2024年新春引抽選会開催します！！

★抽選券は配布せず抽選アプリを利用して近日に抽選を行います。

★今年の辰年「年女男の組合員の皆さん」へ近日プレゼントお届けします！！

